

科目ナンバリング：DCS-3-321-02/DDE-3-321-02/DES-3-321-02/DMS-3-321-02



■授業の目的及び到達目標

工学部の学生を対象にした教職科目で、工業高校における専門科目指導、生徒指導を通じて、社会変化に伴う求められる能力をあきらかにしながら、生徒の職業選択を含む職業に対する意識をどのように育てていくかを考察し、高校3年間での職業教育の職業指導立案ができるようになることを目的とする。工業系教諭として、教育現場での実践力を身につけることを到達目標とする。

■授業計画

- 1 日本社会の変化と職業1
職業の定義・職種および日本社会の変化に伴って求められる人材について
- 2 日本社会の変化と職業2
日本社会の変化に伴って求められる人材と組織社会の職業、キャリアについて
- 3 キャリア教育
キャリア教育・キャリア発達など
- 4 キャリア教育
職業適性とその分類
- 5 学校におけるキャリア開発と支援1
職業適性に関する検査とHR等での活用
- 6 学校におけるキャリア開発と支援2
学校におけるキャリア教育
- 7 学校におけるキャリア開発と支援3
キャリアパスポートと義務教育における事例から見るキャリア教育及び高等学校におけるキャリア教育
- 8 学校におけるキャリア開発と支援4
高等学校における事例から見るキャリア教育
- 9 学校におけるキャリア開発と支援5
高校（工業高校）での就職指導およびアントレプレナーシップ教育
- 10 雇用に関する権利と義務
高校及び大学での就職指導関係について
- 11 世界のキャリア開発1
ヨーロッパのキャリア教育（フランス、ドイツ、イギリス）
- 12 世界のキャリア開発2
アメリカ合衆国、中国におけるキャリア教育
- 13 職業指導のまとめ
12回の講義のまとめと課題。課題後、フィードバックの解説を行う。

■授業の方法

オンデマンド授業による展開。授業前にBbにUpした資料をよく読み、参考書等を活用しながら理解度を深める。15分から20分を進めるごとに設問があるので、その設問に回答（Google Formを利用）することで知識の定着をはかる。授業内容にあわせて、Bbに課題を添付するので資料を確認しながら課題を作成する。質問等はBbまたはメールにて送付する。

■予習・復習

Bbに添付された資料を読み、毎回、設問への回答と課題を作成する。資料は課題試験及び、授業課題の作成等に活用するため必ずファイルをし、常に確認できるように準備する。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

授業内試験(60%)、授業内課題の提出状況(40%)

■教科書・参考書

教科書は利用しないが、参考書として「新時代のキャリア教育と職業指導」（法律文化社）を活用する。また、授業ごとに資料を添付する。

■関連する科目

職業指導I、工業科教育法